

ミラノ大学 国際シンポジウム

DESIGN + LIFE Interconnessioni

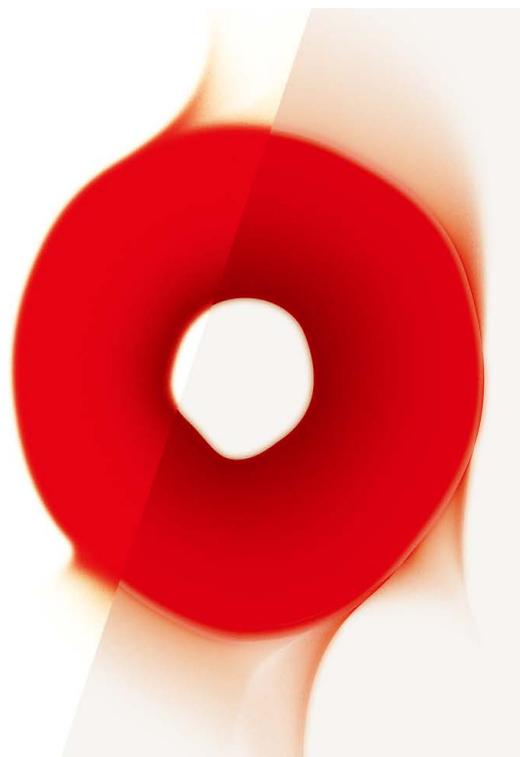
2023年10月29日（日） 13:00 - 16:30（12:30 開場）

国立新美術館 講堂（入場無料）

ゴードン・ブルース、ジョルジェット・ジウジアーロ、蓮池槇郎、
ミケーレ・デ・ルッキ、喜多俊之、伊藤節 + 伊藤志信

ミラノ大学 国際シンポジウム

DESIGN + LIFE Interconnessioni



2023年10月29日（日）、イタリアのミラノ大学が主催する国際シンポジウム「DESIGN + LIFE Interconnessioni（デザイン + ライフ インテルコネッショニ）」が、東京・六本木の国立新美術館 講堂にて開催されます。

イタリアと日本。1960年代以降、デザインにおいて両国のクリエイティブは互いに惹かれあい、融合し、新たな表現を生み出してきました。

イタリア ミラノ大学で 2022年10月に開催された国際シンポジウム「ジャパン デザイン・越境のアート」では、イタリアと日本の世代の異なるデザイナーたちによる対話を実施。

それぞれのキャリアから培われたデザイン観をはじめ、コロナ禍による生活様式の変化や地球課題を語り合うなかで、さまざまな発見がありました。

本イベントはそのスピノフとなります。

参加するデザイナーたちは、自国の文化や環境に深く根ざしながら海外の文化や世界を好奇心旺盛に見つめ前進しています。彼らの仕事は単なるキャリアの成功例ではなく、自分が誰であるかをデザインするという意味で、デザインと人生がひとつになったものだと言えるでしょう。

ぜひ、シンポジウムで、国際的に活躍するデザイナーの生の声をお聞きください。

ミラノ大学 国際シンポジウム DESIGN + LIFE Interconnessioni

Program

Introduction 13:15 - 13:30

「わたし」をデザインする。自分の文化に忠実であること。

ゴードン・ブルース Gordon Bruce / デザインコンサルタント、Red Dot Design Award 審査員

Session 1 13:30 - 14:30

夢を与える レジェンドたちが語る DESIGN + LIFE

ジヨルジェット・ジウジアーロ Giorgetto Giugiaro / デザイナー

蓮池 槇郎 Makio Hasuie / デザイナー

ロッセッラ・メネガッツォ Rossella Menegazzo (司会) / ミラノ大学 文化・環境遺産学部 准教授

Session 2 14:45 - 16:00

イタリアと日本 デザインと文化の国際的なチャレンジ

ミケーレ・デ・ルッキ Michele De Lucchi / 建築家、デザイナー

喜多俊之 Toshiyuki Kita / プロダクトデザイナー

伊藤節 + 伊藤志信 Setsu & Shinobu Ito / デザイナー

Closing 16:00 - 16:30

イタリアと日本 デザインと文化の国際的なチャレンジ

ゴードン・ブルース Gordon Bruce / デザインコンサルタント、Red Dot Design Award 審査員

ロッセッラ・メネガッツォ Rossella Menegazzo (司会) / ミラノ大学 文化・環境遺産学部 准教授

お申し込み Peatixよりお申し込みください。 <https://designlifeinterconnessioni.peatix.com>

会場. 国立新美術館 講堂 (入場無料)

開催日時. 2023年10月29日 (日) 13:00 - 16:30 (12:30 開場)

入場. 無料

ウェブサイト. <https://www.axismag.jp/design-life/index.html> (9月8日公開予定)

主催. ミラノ大学

共催. イタリア 文化会館

特別助成. 公益財団法人 石橋財団

コーディネーター. ロッセッラ・メネガッツォ (ミラノ大学 准教授)

後援. イタリア大使館 / ミラノ大学 文化・環境遺産学部 現代アジア研究センター /
東京大学 先端科学技術研究センター 先端アートデザイン研究室

パートナー. 株式会社アクシス

プロフィール



ゴードン・ブルース Gordon Bruce
デザインコンサルタント、Red Dot Design Award 審査員

1947年カナダ生まれ。エリオット・ノイズ・アンド・アソシエイツに勤務後、85年にゴードン・ブルース・デザインを設立。IBM、モービル、GE、サムスン、レノボなど数多くの企業のデザインコンサルタントを務める。91年から94年までアートセンター・カレッジ・オブ・デザインの京都プログラムの副学長。95年から99年までサムスンのイノベティブ・デザイン・ラボ（IDS）でプロダクトデザインのチェアマンを務めた。米国および中国の大学の客員教授として、若い世代へのデザイン教育に尽力している。



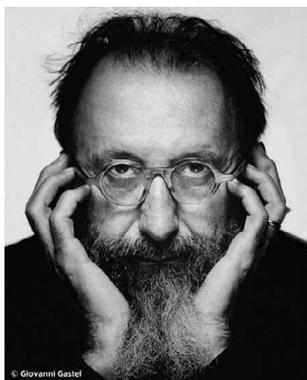
ジオルジェット・ジウジアーロ Giorgetto Giugiaro
デザイナー

1938年イタリア生まれ。トリノ美術学校で学んだ後、17才でフィアット・スタイリングセンターに入社。52年ベルトーネ・スタイリングセンターの責任者となる。68年アルド・マントヴァーニとともにイタルデザインを設立し、200以上の自動車をデザイン。自動車だけでなく鉄道車両やカメラ、デスクチェアなど世界中のクライアントのさまざまなデザインを担当。「英国芸術家・インダストリアルデザイナー協会（SIAD）シルバーメダル」や「コンパッソ・ドーロ」など受賞多数。99年「世紀のカーデザイナー」の称号を授与された。



蓮池 慎郎 Makio Hasuike
デザイナー

1938年東京生まれ。62年東京藝術大学卒業後、セイコーにデザイナーとして勤務。63年イタリアへ渡り、ロドルフォ・ボネットのオフィスで働く。68年ミラノで Makio Hasuike Design を設立。82年バッグとアクセサリーのブランド「MH WAY」を創業。2016年コンパッソ・ドーロ経歴賞受賞。22年イタリアデザイン協会ADI名誉会員。ミラノ工科大学のマスター課程ストラテジックデザインの設立メンバー。同大学工業デザイン学部、ドムスアカデミー、ラッフェルズインスティテュートで教鞭を執る。



ミケーレ・デ・ルッキ Michele De Lucchi
建築家、デザイナー

1951年イタリア生まれ。前衛的なデザイナー集団「メンフィス」で活躍。ヨーロッパの有名企業の家具デザインを手がけ、88年から2002年までオリベッティ社のデザイン・ディレクターを務める。イタリア国内外で公的機関、民間企業、美術館や文化施設など多数の建築プロジェクトを実現。2000年イタリア共和国オフィサーに任命される。2008年よりミラノ工科大学正教授、ヴェネツィアのIUAV教授、06年キングストン大学より名誉博士号を授与され、08年同デザイン学部教授を務める。学際的なスタジオAMD L CIRCLEの創設者。



喜多俊之 Toshiyuki Kita
プロダクトデザイナー

1942年大阪生まれ。69年よりイタリアと日本でデザイン活動始める。家具や家電、ロボット、日用品に至るまで、数多くのヒット製品をデザイン。シンガポール、タイ、中国などで、デザイン活性化の政府顧問を務める。日本各地の伝統工芸・地場産業の活性化、およびクリエイティブ・プロデューサーとして多方面で活躍。国際見本市「Living & Design」ディレクター。大阪芸術大学教授。2011年イタリア「ADI 黄金コンパス賞(国際功労賞)」をはじめ受賞多数。2017年イタリア共和国より「イタリア共和国功労勲章コンメンダトーレ」を受勲。



伊藤節+伊藤志信 Setsu Ito + Shinobu Ito
デザイナー

1997年ミラノにデザイン事務所を設立。世界各国でデザイン開発およびデザインコンサルタント業務を行う。伊藤節（1964年山口生まれ）は筑波大学大学院修了後、アレッサンドロ・メンディーニ、アンジェロ・マンジャロロッチの下で働いた後独立。東京大学先端科学技術研究センター特任教授。伊藤志信（1966年東京生まれ）は多摩美術大学卒業後、CBS ソニー（現ソニーミュージックエンターテイメント）、ソニークリエイティブプロダクツを経てドムスアカデミー修了後独立。多摩美術大学客員教授。ゴールデンコンパス賞やグッドデザイン賞など受賞多数。



ロッセッラ・メネガッツォ Rossella Menegazzo
ミラノ大学 文化・環境遺産学部 東洋美術史准教授

1973年イタリア生まれ。ヴェネツィア・カ・フォスカリ大学で日本美術史を学び、博士号を取得。2018、22年にはミラノ大学で日本美術、デザインをテーマとした国際シンポジウムを企画開催。イタリア国内外で日本美術、写真、デザインに関する展覧会や刊行物を手がける。東京大学先端科学技術研究センター先端アートデザインアドバイザー。主な著書に『IRO: The Essence of Color in Japanese Design』、『WA: The Essence of Japanese Design』（いずれもPhaidon）。16年クールジャパン・アンバサダー就任、17年外務大臣表彰受賞。

ミラノ大学 国際シンポジウムについて

2018年、2022年にイタリアのミラノ大学で開催されたデザインをテーマにした国際シンポジウムで、今回の開催はそのスピンオフ企画として実施します。2022年10月の開催時には、日本とイタリアそれぞれで活躍するデザイナーやジャーナリスト、そして現代の工芸を担う職人たちが参加しました。

登壇者：芦沢啓治、荒木宏介、アンドレア・ブランジ、伊藤 節、伊藤志信、喜多俊之、隈 研吾、倉森京子、佐藤和子、ジョルジェット・ジウジアーロ、須藤玲子（NUNO）、田村奈穂、中川周士、蓮池楨郎、深澤直人、藤原大、フランチェスコ・ズルロ（ミラノ工科大）、樂 吉左衛門（十五代・直入）『インテルニ』『デザインブーム』『AXIS』など。

プレスに関するお問合せ先：HOW INC.
MAIL. pressrelease@how-pr.co.jp
TEL. 03-5414-6405

お客さまお問合せ先：
MAIL. inquiry@how-pr.co.jp